

令和7年度 冬季剣道段位(高三段～五段)審査会開催要項

1. 日 時 (1) 高校三段 令和8年2月8日(日)
受付時間 8時30分～9時00分
審査開始 10時00分
- (2) 四段・五段 令和8年2月8日(日)
受付時間 13時00分～13時30分
審査開始 14時00分
2. 会 場 福岡武道館
〒812-0045
福岡市博多区東公園8-3
※審査会場へは受審者以外入場できません。送迎は入口までお願いします。
3. 受審資格 高校三段・・・二段受有後2年以上修業した者。
(令和6年2月28日以前に取得した者)
四 段・・・三段受有後3年以上修業した者。
(令和5年2月28日以前に取得した者)
五 段・・・四段受有後4年以上修業した者。
(令和4年2月28日以前に取得した者)
**※外国人の受審者で、現段を外国で取得の場合は、申し込みをする前に
(公社)福岡県剣道連盟に問い合わせをしてください。**
4. 審査方法 全日本剣道連盟 剣道称号・段級位審査規則・細則および(公社)福岡県剣道連盟段位審査規程による。
5. 審査科目 (1) 実技 (2) 日本剣道形(実技審査合格者のみ) (3) 学科
- ア. 試験問題
- 高校三段 1. 剣道において、何故礼儀を大切にするかを述べなさい。
2. 「仕掛けていく技の種類」を書きなさい。
- 四 段 1. 「打ち込み稽古と掛け稽古」の相違点を説明しなさい。
2. 「日本剣道形修練の必要性(効果)」について述べなさい。
- 五 段 1. 「剣道指導者としての心構え」について述べなさい。
2. 「日本剣道形太刀3本目及び小太刀2本目での指導上の留意点」を、それぞれ3つ(3本目)と2つ(2本目)を箇条書きにしなさい。

イ. (公社)福岡県剣道連盟が配布したA4版学科試験問題(答案用紙)を使用すること。

ウ. 記述様式

あらかじめ、氏名・解答を直筆で記入すること。またコピー及びパソコン等による解答の提出は禁止する。

エ. 解答上の注意事項

- ・設問と異なる解答をした場合は、不合格とするので、十分注意すること。
- ・HP掲載の模範解答を熟読の上、丸写しでなく、自分の意見も述べること。

オ. 答案用紙の提出

審査申込書とともに事前に提出すること。

※学科試験答案用紙未提出の場合は、学科試験不合格となります。

※外国人の受審者で英語版の答案用紙が必要な場合は、事務局まで連絡すること。

6. 申込方法 規定の審査申込書を記入し指導者印忘れないようにして下さい。

(古い申込書は使用しないこと)

7. 申込先 〒814-0022

福岡市早良区原5-10-18 早良区剣道連盟事務局 橘薦 和誠

※必ず郵送でお願いします。

※直接の投函は不受理と致します。

※普通郵便は日にちがかかるので気を付けて下さい。

8. 申込締切 **令和7年12月20日(土)必着 厳守**

9. 審査料 高校三段 6,700円(審査料5,200円、事務手数料1,500円)

四段 8,700円(審査料7,200円、事務手数料1,500円)

五段 10,600円(審査料9,100円、事務手数料1,500円)

各段、再受審料 2,500円(審査料1,000円、事務手数料1,500円)

(20歳以上で年会費未納の場合は5,000円プラスです)

詳しくは、早良区剣道連盟のHPの「審査会」→「審査料及び諸経費一覧」

各段位の審査料をご確認下さい。

払込先: ゆうちょ銀行 口座記号番号 01700-1-153429番

口座名称(漢字) 福岡市早良区剣道連盟 (か) フクオカシヤラクンドウ ウレンメイ

※他金融機関から振込まれる際は次の内容をご指定ください。

【店名】一七九(イチナナキュウ)

【店番】179 【預金種目】当座 【口座番号】0153429

※個人振込は振込用紙に受審段位の記入をお願いします。

※振込が団体の場合は、審査団体申込書を記入後に下記の公式ラインに写真を送って下さい。

10. 持参品 剣道段位審査に必要な物(竹刀、防具、木刀等)、マスク、面マスクかシールド、昼食(必要な人のみ)
11. 受審番号 **「受審票」のハガキは発送しませんので、福岡県剣道連盟のHPで自分の受審番号を確認して、審査会当日に受付で受審番号を伝えること。**
※受審番号は令和8年2月1日以降に福岡県剣道連盟HPに掲載する。
12. 安全対策 受審者は、各自十分健康管理に留意し本審査会に参加すること。
高齢の受審者については、特に留意のこと。
主催者に於いて、審査実施中、傷害発生の場合は、看護師により応急処置を講じ、病院等で治療を受けられるよう手配する。この場合の治療費は自己負担とする。審査時は面マスクまたは、シールドを着用すること。
13. 特例措置 特例措置として次の(1)・(2)のいずれかに該当する受審者は、学科の審査(筆記試験)を免除する。
(1)審査当日に満年齢70歳以上の者。
(2)五段を受審する者で、全剣連社会体育指導者(初級)資格の認定を受けた者。
認定証コピーを申込書に添付すること。
14. 注意事項 日本剣道形及び学科審査が不合格となった受審者は再受審が認められる。
ただし、審査会当日、日本剣道形を受審しない者の再受審は認めない。
なお、本審査日より1年経過後は、再受審は無効となるので留意すること。
15. 個人情報保護法への対応 **※以下を申込者に周知してください。**
参加者の個人情報(漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等)は福岡県剣道連盟および地域剣道連盟が行事運営のために利用する。なお、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要な都度、目的に合わせた公表媒体(掲示用紙、ホームページ、剣脈等)に公表することがある。更に、普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。
16. お問合せ先 電子メール sawara.kenren@gmail.com
件名に「○段審査会について」と記入して下さい。
本文には所属団体(○○剣道クラブ)を記入して下さい。
または、下記の公式ラインより友達追加していただき問合せ下さい。

早良区剣道連盟公式ライン



受審する審査会へ☑

<input type="checkbox"/> [段位] 審査 団体申込書		学校名				剣道部顧問			
		団体名				代表指導者			
申 責 任 込 者	氏名			電話番号		メールアドレス			
受審者氏名	性別	生年月日	受審段・級	審査料	登録料	事務費	年会費	入会金	計
1	男 ・ 女								
2	男 ・ 女								
3	男 ・ 女								
4	男 ・ 女								
5	男 ・ 女								
6	男 ・ 女								
7	男 ・ 女								
8	男 ・ 女								
9	男 ・ 女								
10	男 ・ 女								
合計									
申込書枚数 枚(1/)									

段位審査において年会費未納者は、未納分(中・高生は年2,500円、一般は年5,000円)の納入がない場合は受付できません。 (単位:円)

高校三段

剣道

居合道
杖道

段位審査申込書

形・学科再受審者は

赤○印(形・学)

(受審者で必ず記入して下さい)



全剣連整理番号

現住所	〒_____									電話	市外局番()						
											_____					_____	
フリガナ				性別	国籍		生年月日										
氏名	(旧姓) 女子は朱書き			男・女	(外国人のみ)		西暦 年月日生 (満才)										
職業コード表 (該当するものに○印)	01 中学生 高校	02 専門学生 大学	03 警察官	04 自衛官	05 教員	06 公務員	07 会社員	08 自営業	09 団体職員	10 主婦	11 刑務官	12 医師	13 看護師	14 無職	15 その他		
現段位	段		取得年月日					西暦 年月日									
現段受審地	市 県 郡 町 (会場名)																
受審段位	段 所属(道場名等) [] 学校名 [] 学校 [] 年在学中																
(公社)福岡県剣道連盟会長様 女子は朱書き																	
上記のとおり申し込みいたします。																	
令和 年 月 日 氏名 印																	
所属名 会長印	() 剣道連盟会長 印												事務局長印	指導者印			

(注意)

- 会長印のないものは受け付けない。
- この申込書は受審者本人が正しく楷書で書くこと。改姓・名の場合は旧姓・名を()に記入すること。
- 女子は姓名を朱書きすること。
- 現段位の年月日は証書の日付けを記入すること。
- 外国人受審者は、国籍を記入すること。
- 個人情報については、個人情報保護法に基づき法令を遵守し、当連盟の運営以外には利用しない。

四段

剣道

居合道
杖道

段位審査申込書

形・学科再受審者は
赤○印(形・学)

(受審者で必ず記入して下さい) ⇒

全剣連整理番号

現住所	〒_____												電話	市外局番()		
														—		
フリガナ					性別		国籍		生年月日							
氏名	(旧姓) 女子は朱書き				男 ・ 女	(外国人のみ)		西暦								
								年月日生 (満才)								
職業コード表 (該当するものに○印)	01 中 学 高 校	02 生 徒	03 専 門 大 学	04 警 察 官	05 自 衛 官	06 教 員	07 公 務 員	08 会 社 員	09 自 営 業	10 團 体 職 員	11 主 婦	12 刑 務 官	13 医 師	14 看 護 師	15 無 職	その他
現段位	段		取得年月日						西暦 年月日							
現段受審地	市 県 郡 町 (会場名)															
受審段位	段 所属(道場名等) [] 学校名 [] 学校 [] 年在学中															
(公社)福岡県剣道連盟会長様 上記のとおり申し込みいたします。 令和 年 月 日 氏名 印																
所属名 会長印	() 剣道連盟会長 印												事務局長印	指導者印		

(注意)

- 会長印のないものは受け付けない。
- この申込書は受審者本人が正しく楷書で書くこと。改姓・名の場合は旧姓・名を()に記入すること。
- 女子は姓名を朱書きすること。
- 現段位の年月日は証書の日付けを記入すること。
- 外国人受審者は、国籍を記入すること。
- 個人情報については、個人情報保護法に基づき法令を遵守し、当連盟の運営以外には利用しない。

五段

剣道
居合道
杖道

段位審査申込書

形・学科再受審者は

赤○印(形・学)

(受審者で必ず記入して下さい) →

全剣連整理番号

現住所	〒_____									電話	市外局番()					
フリガナ											—					
氏名	(旧姓) 女子は朱書き			性別		国籍			生年月日							
				男	女	(外国人のみ)			西暦			年月日生			(満才)	
職業コード表 (該当するものに ○印)	01 中 学 高 校	02 生 徒	03 専 門 大 学	04 警 察 官	05 自 衛 官	06 教 員	07 公 務 員	08 会 社 員	09 自 営 業	10 団 体 職 員	11 主 婦	12 刑 務 官	13 医 師	14 看 護 師	15 無 職	その他
現段位	段		取得年月日				西暦 年月日									
現段受審地	市区 (会場名) 県 郡 町															
受審段位	段 所属(道場名等) [] 学校名 [] 学校 [] 年在学中															
(公社)福岡県剣道連盟会長様 女子は朱書き 上記のとおり申し込みいたします。																
令和 年 月 日 氏名 印																
所属名 会長印	() 剣道連盟会長 印												事務局長印	指導者印		

(注意)

- 会長印のないものは受け付けない。
- この申込書は受審者本人が正しく楷書で書くこと。改姓・名の場合は旧姓・名を()に記入すること。
- 女子は姓名を**朱書き**すること。
- 現段位の年月日は**証書の日付け**を記入すること。
- 外国人受審者は、**国籍**を記入すること。
- 個人情報については、個人情報保護法に基づき法令を遵守し、当連盟の運営以外には利用しない。

令和8年2月 剣道段位審査会学科試験問題

番号		氏名	
----	--	----	--

※番号は記入しないこと

所属	剣道連盟
----	------

【高校三段】

(1) 剣道において、何故礼儀を大切にするかを述べなさい。

(2) 「仕掛けていく技の種類」を書きなさい。

令和8年2月 剣道段位審査会学科試験問題

番号		氏名	
----	--	----	--

※番号は記入しないこと

所属	剣道連盟
----	------

【四段】

(1) 「打ち込み稽古と掛け稽古」の相違点を説明しなさい。

(2) 「日本剣道形修錬の必要性（効果）」について述べなさい。

令和8年2月 剣道段位審査会学科試験問題

番号		氏名
----	--	----

※番号は記入しないこと

所属	剣道連盟
----	------

【五段】

(1) 「剣道指導者としての心構え」について述べなさい。

(2) 「日本剣道形太刀3本目及び小太刀2本目での指導上の留意点」を、
それぞれ3つ(3本目)と2つ(2本目)を箇条書きにしなさい。

令和8年2月 剣道段位審査会学科試験問題【解答例】

番号		氏名
----	--	----

※番号は記入しないこと

所属	剣道連盟
----	------

【高校三段】

(1) 剣道において、何故礼儀を大切にするかを述べなさい。

【起り】剣道は刀を持って相手を倒すことから始まり、「剣の理法の修練による人間形成の道である」という考え方までに発展した我が国の伝統文化である。

剣道は対人的格闘技であるので、ややもすると闘争本能をむき出しにしてしまう場合がある。こうした闘争本能を人間として制御するところに、剣道における礼の意義がある。それ故に、古来「剣道は礼に始まって礼に終わる」と厳しく教えられ、実践してきた。

〔解答〕剣道を修練する上で、お互いに心を練り、身体を鍛え、技を磨くための良き協力者として、内には相手の人格を尊重して常に感謝の念を持ち、外には端正な姿勢で礼儀正しくすることが、剣道にとって極めて大切なことである。稽古や試合の前後の礼法を立派に行なうことはもちろんのこと、終始、正しい心、慎みの心、敬う心といった礼の本体を離れることなく、素晴らしい剣道を創造していくうえで、礼は大切な要素である。

(2) 「仕掛けていく技の種類」を書きなさい。

- ⑤ 一本打ちの技 ② 払い技 ③ 二・三段の技 ④ 出ばな技
- ⑤ 引き技 ⑥ かつぎ技 ⑦ 片手技 ⑧ 上段からの技 ⑨ 捲き技

令和8年2月 剣道段位審査会学科試験問題【解答例】

番号		氏名
----	--	----

※番号は記入しないこと

所属	剣道連盟
----	------

【四段】

(1) 「打ち込み稽古と掛け稽古」の相違点を説明しなさい。

打ち込み稽古は、打ち込む側が元立ちの与える打突部位を捉えて打ち込んでいくなかで、打突の基本的な技術を体得する稽古法である。

掛け稽古は、掛かる側が積極的に相手を攻め崩して打突の機会をつくり、短時間のうちに気力、体力の限りを尽くして打ち込んでいく稽古法である。

(2) 「日本剣道形修練の必要性（効果）」について述べなさい。

剣道形は、先人が英知を尽くして創造したものであり、長い歴史の過程で、理合や精神面に深い内容を持つまでに発達したものである。

日本剣道形を正しく継承して次代に伝えることは大きな意義があり、また、私たちの使命でもある。剣道形を繰り返し修練することによって、剣道の基礎的な礼儀作法や技術、剣の理合を修得することができ、さらに内面的な気の働きや気位といった剣道の原理原則をも会得できる。このように剣道形は、剣道の規範となるものであることを深く認識し、平素から日本剣道形の修練に努めることが大切である。

令和8年2月 剣道段位審査会学科試験問題【解答例】

番号		氏名	
----	--	----	--

※番号は記入しないこと

所属	剣道連盟
----	------

【五段】

(1) 「剣道指導者としての心構え」について述べなさい。

剣道の修練で指導者はもっとも重要な立場にあり、指導者が適切な指導をしているか否かは指導を受ける者の人間的な成長や技術的な成長のすべてを決定していると言っても過言ではない。

剣道では指導者と指導を受ける者とが、互いに身体をぶつけ合って修練することが多いので、指導者の人格や技遣いが、指導を受ける者に肌をとおして直接受け入れられ、影響を及ぼすことになる。基本的な心構えを列挙すれば下記のとおりである。

1. 確固とした信念と情熱、愛情と誠意を持って指導する。
2. 指導を受ける者的人格と個性を尊重しながら指導する。
3. 自らの人格を養い、信頼される指導者となるように努力する。
4. 指導を受ける者とともに修練に励み、技能の向上に努める。
5. 能率的、合理的な指導法の研究を心がけ、指導を受ける者が理解しやすい指導の方法を研究する。
6. 指導を受ける者の健康や安全に留意する。

(2) 「日本剣道形太刀3本目及び小太刀2本目での指導上の留意点」を、

それぞれ3つ(3本目)と2つ(2本目)を箇条書きにしなさい。

太刀の形3本目

- イ. 打太刀は的確に水月を突き、手元が上がらぬように注意させる。
- ロ. 仕太刀は突き返したら、更に突きの気勢で位詰めに進むのであって突くのではないから、その時剣先は突き出さぬようにさせる。
- ハ. 仕太刀がやや早く位詰めに進み、剣先を顔の中心に付けた後、元の位置に戻るときは、打太刀の始動と呼吸を合わせて引き始めさせる。

小太刀の形2本目

- イ. 打太刀は一拍子に脇構えから正しく上段に振りかぶり、真っ直ぐにうち下ろし、斜め打ちにならぬよう注意させる。
- ロ. 仕太刀は残心をとる時に、ことさら体を進めて接近しないようにさせる。